



NFコンテストでトップになったHB9BBDのLNA。そのNFは0.16dB！



NFコンテストの測定を行うHB9BBD



NFコンテスト参加の各局が自作したLNAなどの数々



1296MHz EME SSBコンテストのワードを受賞するF6KHM



夜のバンケットでSM4IVE (左)と懇親を深めるJR5BMM 三好さん(中), JH5LUZ 佐々木さん(右)



EME談義中のZS6AXT, SM6CKU, PA3CSG(写真左から)



EMEの話題を肴に懇親を深める。写真左からPA3DZL, G3LTF, PA3CMC, PI2PHD, JH1KRC(筆者)



JTモードのデモンストレーションを行うK1JT ジョー・テイラー博士。彼はパルサー研究で知られるノーベル賞科学者

広間ではHB9BBDによるNFコンテストが盛況でしたが、本人製作のLNA ( $NF = 0.16\text{dB}$ ) がダントツ1位なのはさすがです。

夜のバンケットではZS6AXT, SM3AKW, SM4IVE, SM6CKUらと同席でおいしいビールとワインで食事を楽しみました。K2UHYからF6KHMチームの1296MHz SSBコンテスト表彰, IIANPからARIコンテストの表彰などのほか、次回カンファレンスの6立候補地の代表がそれぞれ売り込み合戦を行い、私が東京開催の演説も行いましたが、次

回2008年はフィレンツェ(イタリア)に持っていかれました。最後はDF6NAの軽妙な司会によるビンゴで多数の賞品が配られたあと、各自それぞれ個別のミーティングとなりました。

27日(日)の一番手はK1JT本人がWSJTの新知見を含めての解説を行いました。これを聞いたあと、残念ながら私とシルビーは翌日からの仕事の都合で会場を後にしました。

(関連記事p.169)